

議会報告会記録（平成 26 年 5 月 23 日（金） 北部公民館）

1 部 議会報告

問：燃やせばゴミになる草や剪定枝を、堆肥化やチップにして活用すべきではないか。

答：この 4 月から堆肥化して販売する事業がスタートしている。

問：議長不信任決議案の報告があったが、その金額で公職選挙法の違反に問われるのか。

答：違法であり、寄付行為は一切ダメ。

問：通行量も多く危険度も高い現道路から釜坂トンネルを要望しているが、どうなっているのか。着工されて実現すると聞いている。

答：議会でも取り上げているが、実現されていない。今後も担当課とも協議していく。

問：中国道のパークアンドライドの駐車場の整備は有り難いが有料か。無料を要望する。

答：有料とは聞いていない。無料を要望したい。

2 部 意見交換（地域活性化について）

問：鳥獣被害対策を、繰り返し要望する。猪と鹿による被害は甚大で深刻であり、住みよい地域づくり、まちづくりのためにも早急な対策を切望する。

答：深刻な課題であり、市も県も予算を倍増させている。対策には地元負担も発生するが、理解と協力をお願いしたい。

問：播磨国風土記 1300 年祭はタイムリーで期待するが、来年だけのイベントに終わらないか危惧する。地域のルーツ、歴史等を子育てと関連させて、小学生にも「ふるさと加西」を体系的に残すため、「宇仁歴史資料館」等の継続性のある取り組みが重要ではないか。

答：行政は、この機会に伝統芸能等をしっかりと継続することを表明している。

問：老人の徘徊等が社会問題化している。地域の人達が助け合うシステムや施設が重要で要望したい。行政の対応も限界があると思うが、住民相互の助け合うシステム、しし肉やとり肉の販売、農業の振興、営農への支援等、早期の対策を要望する。

答：そのような心配事を、ふるさと創造会議で、地域でみんなで考えていくことが重要。住民全員で考えて検討する中で知恵を出していただきたい。住民の協力が大切で必要と考えている。

意見：ふるさと創造会議には、既存の活動グループの力を借りること、高齢者が中心とな

る活動ができるかどうか、そのために公共交通をどう確立するか、そして農業資源をいかに活用できるか、その３点にかかっていることを提案したい。それらは議会の強力な働きかけも必要と考える。

答：貴重な提案として受け止めて、議会の審議に反映させていきたい。

意見：西在田ゆめ会議では、地域の若い世代と一緒に夏イベントを企画中。地域の出身者にも参加を呼びかけて盛り上がりを目指している。小さな取り組みを重ねていきたい。